

7 春陽橋

【シーン説明(第2巻・表紙)】
第2巻の表紙を飾りました。まさに花より団子ですね。

春陽橋は西濠にかかる橋で、さくらまつり期間は手漕ぎボートに乗ることが出来ますよ。橋から眺める西濠は絶景で、うっとりとしたロマンチックな気分になります。

●弘前市下白銀町1
【問】☎0172-33-8739
弘前市公園緑地課



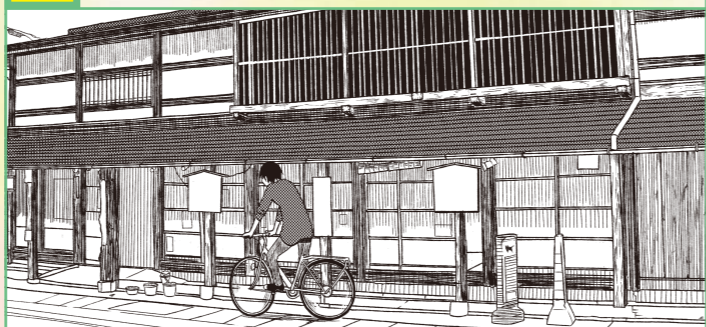
アル
犬養が連れてくる使い魔。
お茶目な一面がある。

10 石場家

【シーン説明(第1巻・第1話)】
同級生のなおさんが住む酒屋さん。初対面でホウキにまたがり、空からの登場は、さすがに驚かせちゃいましたね(笑)

お殿様がいた時代に建てられた古い商家。実際は酒屋さんで、ここのおばあちゃんはとっても優しい人ですよ。

●弘前市亀甲町88
【問】☎0172-32-1488 / 石場家



千夏
まだ小さいのに意外としっかりしている女の子。
魔女見習いになりました。

石渡 なお
真琴と圭が通う高校の同級生。家が酒屋でお手伝いしている。

圭
真琴とは幼馴染みでマイペースな草食系男子
千夏のお兄ちゃん

11 四の丸露店街

【シーン説明(第2巻・第8話)】
お母さんにももらったお小遣いで、無駄なく豪遊? 迷った矢先、お化け屋敷に入ることに。先頭の私が迷ったため、余計に怖いことになってしまいました…。

まつり期間中は、たくさんの露店が並びます。美味しい弘前グルメから、お化け屋敷やオートバイサーカスまで。郷土芸能のステージ等もやっていますよ。

●弘前市下白銀町1
【問】弘前市公園緑地課 / ☎0172-33-8739



8 弘前城天守

【シーン説明(第2巻・第8話)】
通りすがりのおばあちゃんに、お城をバックに写真を撮ってもらったんですが、肝心のお城が写っていませんでした。これも良い思い出です。

現存12天守の一つ。ちなみに、さくらまつりの期間中は連休前であっても、たくさんのお客で溢れていますので、ゆっくりと桜を見たい方には、朝の早い時間がオススメです。今年からお城の石垣を工事するようですが、私の魔術があれば…、あつという間ですよ。(笑)

※弘前公園は、ペットの入場は禁じられています。

●弘前市下白銀町1
【問】☎0172-33-8739 / 弘前市公園緑地課



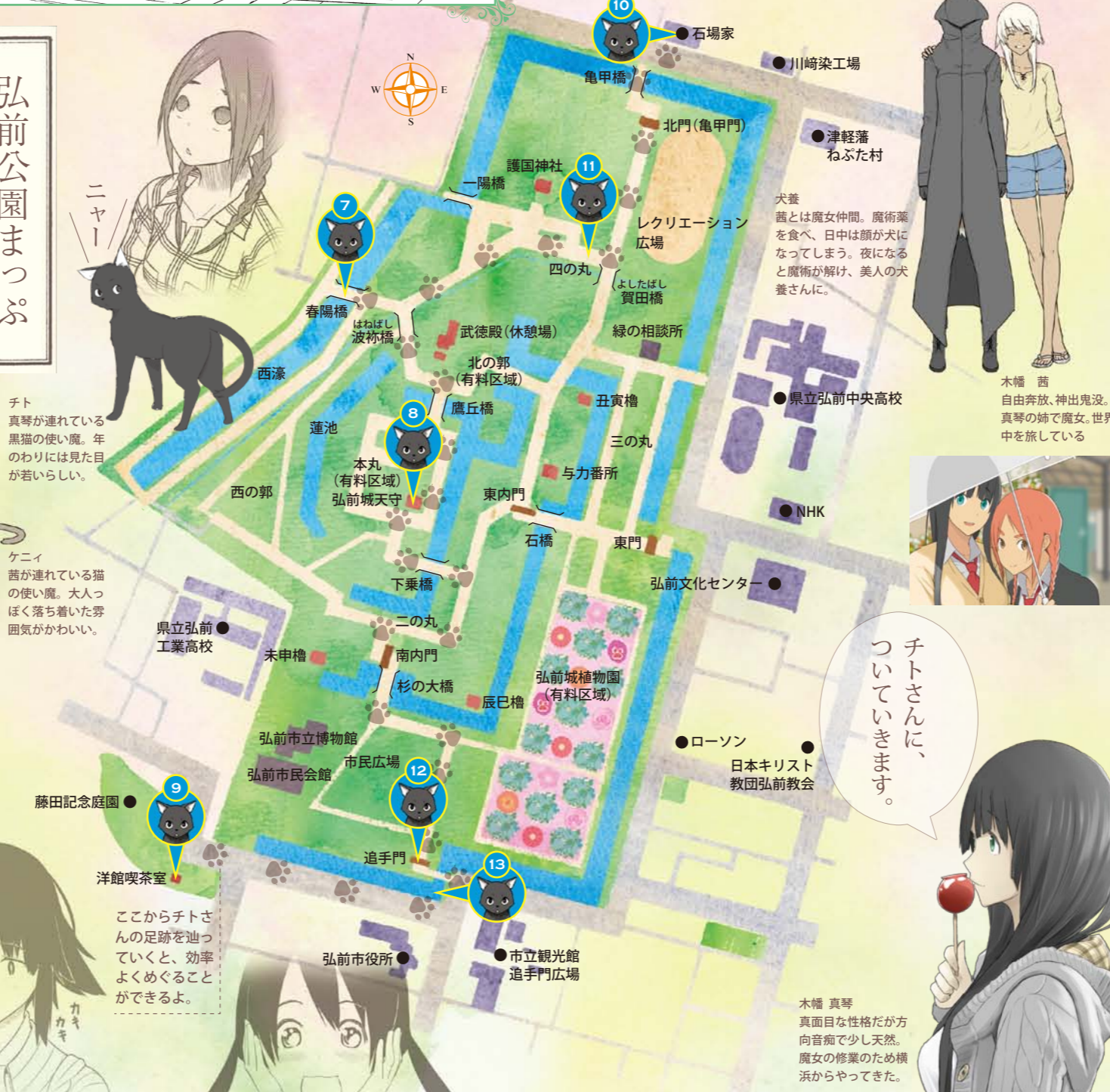
弘前公園まつぷ

チト
真琴が連れてくる黒猫の使い魔。年のわりには見た目が若いらしい。

ケニイ
茜が連れてくる猫の使い魔。大人っぽく落ち着いた雰囲気がかわいい。

ここからチトさんの足跡を辿っていくと、効率よくめぐることができるよ。

カキ
真面目な性格だが方向音痴で少し天然。魔女の修業のため横浜からやってきた。



12 追手門

【シーン説明(第2巻・第8話)】
さくらまつり会場の弘前公園へは、この門から入場しました。近くにたくさんの観光施設が建ち並び、お城の南側にある正門。

●弘前市下白銀町1 【問】☎0172-33-8739 / 弘前市公園緑地課

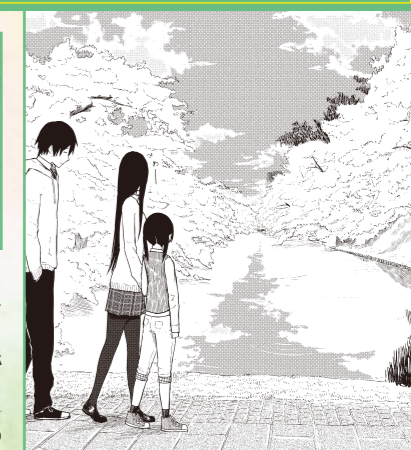


13 追手門前外濠

【シーン説明(第2巻・第8話)】
圭さんと千夏ちゃんと一緒にさくらまつりにやってきました。千夏ちゃんは、桜より私の方がきれいだよ。と言、お世辞?

外濠に散った水面に浮かぶ桜の様子を花筏(はないかだ)と呼び、一生に一度は見たい絶景スポットになっています。

●弘前市下白銀町1
【問】☎0172-33-8739 / 弘前市公園緑地課



9 藤田記念庭園洋館

【シーン説明(第3巻・第13話)】
魔女が経営する喫茶店コンクルシオ。建物には魔法がかかっている、これをとく鍵は、神社のお参りの仕方、「二礼二拍一礼」になっています。なんと幽霊なのに恥ずかしがり屋さんのウエイトレスさんがいて、姿を消して働いていましたよ。

女性スタッフが中心の大正期の洋風建築の中にある喫茶店。高台部庭園からの岩木山の眺望が素敵です。花菖蒲や大きな池がある庭園が有名ですよ。

●弘前市上白銀町8-1
【問】☎0172-37-5690 / 大正浪漫喫茶室

